

今後の審議会運営について

■ 現状整理

これまで5回の全体会（視察含む）及びワーキンググループ会議を通じて、「宮代町の教育」に関する「項目立て」と「整理」が行なわれています。

【学校教育 WG でまとめられている項目】

1. 宮代町らしい教育の取組み
 - ① 環境教育 / ② 多文化 / ③ 道徳教育 / ④ 小中連携・一貫教育の充実と発展
 - ⑤ 宮代の子どもたちは町全体で育てる / ⑥ 異年齢交流の充実と発展 /
 - ⑦ 宮代町の学校を超えた交流推進 / ⑧ 子ども文化の交流/⑨ 学校支援の仕組み
2. 通学区域・配置
 - ① 1学年あたりの学級数 / ② 1学級あたりの児童生徒数 / ③ 学校自由選択制
 - ④ 通学路・距離 / ⑤ 学校の場所
3. 校舎
 - ① 建物のづくり、校庭 / ② 配置 / ③ 安全・安心 / ④ 多機能化

併せて、本年2月には「小中学生保護者」「教職員」を対象とした意識調査を実施し、適正配置に関するニーズが把握されています。

■ 審議会への諮問事項

当審議会に対する町からの諮問事項は、以下の三項目です。

- (1) 小中学校の適正規模及び学校数
児童生徒が適切な教育環境を享受できる学校規模及び更新整備すべき学校数について
- (2) 位置・通学区域
児童生徒の通学や地域のつながりに配慮した学校の位置及び通学区域の編成について
- (3) 多機能化の可能性
学校施設を核とした地域コミュニティの創造や住民福祉の向上につながる機能併設の可能性について

従って、今後の審議会では現在検討されている事項と意識調査結果から、上記三項目に対する回答を導く作業が必要となります。

■ 今後の審議会運営について

上記を踏まえ、「審議会答申」に向けた行程を下図のとおり整理しました。

(1) 審議会テーマ（柱立て）の確認

学校教育WGが検討している項目に不足はないか？



(2) 意識調査結果との対照

上記検討項目に対する意識調査結果はどのようなになっているか？



(3) 検 討

検討項目ごとに考え方をまとめます。
項目が多岐にわたるため、ワーキンググループ同士での分担が必要です。



(4) 住民広報

「将来こんな教育を残したい」をテーマとしたフォーラムを想定しています。将来に向けた機運を高めることが趣旨で、適正配置や答申案の是非を問うものではありません。



(5) 答 申

(4)までの内容を整理して、「審議会答申」としてまとめます。

別紙「検討項目と担当 WG」

1. 宮代町らしい教育の取組み		意識調査	担当 WG
①	環境教育	自由意見	学校教育 WG
②	多文化	自由意見	学校教育 WG
③	道徳教育	自由意見	学校教育 WG
④	小中連携・一貫教育の充実と発展	自由意見	学校教育 WG
⑤	宮代の子どもたちは町全体で育てる	自由意見	学校教育 WG
⑥	異年齢交流の充実と発展	自由意見	学校教育 WG
⑦	宮代町の学校を超えた交流の推進	自由意見	学校教育 WG
⑧	子ども文化の交流	自由意見	学校教育 WG
⑨	学校支援の仕組み	自由意見	学校教育 WG

2. 通学区域・配置		意識調査	担当 WG
①	1 学年あたりの学級数	○	学校教育 WG
②	1 学級あたりの児童生徒数	○	学校教育 WG
③	学校自由選択制	自由意見	学校教育 WG
④	通学路・距離	○	教育環境 WG
⑤	学校の場所	○	教育環境 WG

3. 校舎		意識調査	担当 WG
①	建物のつくり、校庭	自由意見	教育環境 WG
②	配置	○	教育環境 WG
③	安全・安心	○	教育環境 WG
④	多機能化	○	教育環境 WG

4. 教育フォーラム

広報 WG

- ① 宮代町ではこんな教育に取り組んでいる！
- ② 将来は、こんな教育（環境）だったら良い！
- ③ まとめ（専門家による講演 など）